11 月 の納税

国民健康保険税の3期分です 税金はきめられた期間内に納める

はありません。 が、当町においても例外で 社会問題になっております 交通安全については大きな という標語のように、今や

このうち特に良かった一

为四小学校

三年 福武理恵子 六年 大井成介

五年 横山三千代

載いたします。 五点について順次広報に掲 派なものばかりでした。

なお、掲載原はオー小、

湖北小学校

三年 海老原しげき

一年 さいとうあきひろ

「世界の願い交通安全」

通安全作文

表彰者決まる

为三小学校

二年 かわむらかがり

日まで、全国一斉に行なわ

そこで十月一日から二十

湖北小、布佐小、布佐中、 **沖二小、沖三小、沖四小、**

布佐小学校

ようお願いします

学校児童生徒から交通安全

したところ多数の児童生徒

 十一小学校 の方は次のとおりです。 号を追って掲載します。 湖北中、我孫子中の順序で

年

すずきいずみ

また、表彰された十五名

六年 斉藤直政

一年 藤山千鶴

三一人)どの作文もみな立 さんから寄せられました。 についての作文を募集しま の一環として、町内の小中 れました秋の交通安全運動

(小学生一三二人、中学生

壮二小学校

我孫子中学校 湖北中学校

一年 真仲淳子

三年 平野由喜子 三年 渡辺己惠子 布佐中学校

二年 久保田厚子 六年 大沢房子

オ 259 号 昭和43年11月16日

行 発

千葉県東葛飾郡我孫子町役場 電話あびこ (0471)82-1151 (大代表) 昭和34年7月30日十三種郵便物認可 発行日 毎月 1日・16日 1部 2円

月二日まで、秋季火災予防 十一月二十六日から十二 十一月二十六日から十二月二日 また、家の中で、防火的に (1) くらしの中の防火習慣 火をいろいろな方法で利用 すすめます。 点として、この運動をおし のときの防火体制などを重 改善するもの、さらに火災 していますが、この使い方 わたくしたちの生活では

ばんに発生します。 ことが多くなり、空気もだ 防火意識を向上させ、又火 んだん乾燥して火災がひん 暖房器具をはじめ火を使う ように心掛けて下さい。 し、寒い冬を暖かく過せる にし、火災予防体制を強化 に対する取扱いを一層大切 あたり町民ひとりひとりの らの火災多発期を迎えるに 週間になりますが、これか わたくしたちは、火災で とれから冬にかけては、 方はこどものうちからしつ をおこします。安全な使い をあやまると、事故や火災

の火災予防運動では、わた だんから火の取扱いや、万 尊い生命や、大切な財産を 失なうことのないよう、ふ の設備や対策も講じておく でも損害を小さくするため この点から、ことしの秋 火災がおきたとき、少し (2) ウ、コンロ、ストーブなど ア、家を出るとき、寝ると イ、たばこは、灰皿のある 問題です。が、火災をおこ して習慣づけましょう。 なことを日常の生活行動と さないために、つぎのよう けておかなければならない ところで吸う。 いにかたづけておく。 のまわりは、いつもきれ き火の元をたしかめる。

るためには、火を使う場所 火災から生命と財産を守 家庭の中の防火のくふ

おかなければならないもの 災予防のために習慣づけて くしたちの生活の中で、火

必要があります。

にスタート。 [東葛駅伝]

前である。 通り、ゴールは野田市役所 コースは、新川三叉路を レース経過は、我孫子中

柏市、流山北部中学校がト ップグループ、万人の予想

校三十五校が松戸市常盤平 支所前を午前十時五分一斉 駅伝大会が行なわれ、参加 十一月一日東葛管内中学 湖北中準優勝•布佐中三位

通りに、レースが展開され

上り準優勝をとげました。

いとも思われる感嘆の雰囲 がもれ、我孫子はすばらし やられたというような質声 手や参加者から、我孫子に 葉が読み上げられ会場の選 次々と我孫子町立という言

のです。

我孫子中は、前半樽教諭

であったが、ねばりと根性

は文筆に表現できない苦し との栄気を手中に収めるに 気で一杯であった。各校が

い訓練がなされてきている

挙管理委員会へお問い合せ

ください。

布佐中は、オー区で中位

を発揮し、中盤から五位に

教諭に伴走が受けつがれ堂 の件走でトップに出て 中

々二年連続優勝の栄冠を獲 盤から独走態勢となり渡辺

した。

湖北中は、阿部教諭の伴

し、堂々の凱旋をし関係者 が一位から三位までを独占

六年 根本年子 走のもとに中盤から二位に

ウ、すぐ逃げられるように 用意しておく。 かんたんな避難の器材を 具をとりつける。 我孫子中連続優勝なる ゥ、

を防火的に改善したり避難 どを用意しておきましょう イ、火災を早くみつける器 ア、火を使う場所は燃えな のためのかんたんな器材な いようにする。

あり。 関連標語①午後十時は消

ておきましょう。 ア、ふだんから消火の準備 火できるような体制を整え をしておく。

統一標語①出るとき、寝 識を開き話し合う。 るとき火の元をたしかめ 防災(家族、耺場)会

事の恐ろしさを知らない ましょう。②あなたは火 の 避難訓練の指導と署員 0 0

⑥ 消防演習の実施

を感激させた。

はずです。

-区 鈴木

二区

三区 知久

四区

五区

六区

七区

八区

九区

閉会式の成績発表の際、

の救助訓練

ィ、火災のときは、みんな に知らせみんなで協力し 0 0 の実施

の予防査察 の神前埋立地 危険物貯蔵所、取扱所 旅館の予防査察

北 中

正弘

田口二三夫

豊島 幸夫

根本 秀樹

飯塚

中野

吉岡 義則

今井 正直

今井 延義

鈴木 忠典

守ろう。 予防週間中の主な行事 しょう。②火災から命を 前に火の元をたしかめま 防の時間です。おやすみ

布 佐 中

宮田 昭吾

海老原一正

志水

増田 幸雄

藤代

石井 嘉信

石井 信行

永井

芳樹

勉

豋

人たち皆んなで協力して消 ために、家族や隣り近所の

火災を小さいうちに消す 家庭と近家に防火体制

消防団の機械器具点検 火災予防巡回パレード 名

油火災の消火実験 字 手

選 会 加 我孫子中 湖

Œ

智明

海老原忠雄

五十嵐良雄

鈴木 勝俊

渡辺 行雄

酒井 敏雄

丸島

吉岡 忠明

中を拔き三位でゴールイン 上り、アンカーで柏中、土 ここに我孫子町内の三校

十二月一日現在で行なう

十二月一日現在で選挙人

資格要件は次のとおりです す。こんど登録される方の は資格要件を具備する方が **うに、選挙人名答への登録** がありますがその多くの方 始めて確保されるものです かないと言って来られる方 申し出をすることによって 皆様もすでにご承知のよ 選挙時に投票入場券が届

△ 年令要件

△ 住所要件

降引続き本町に居住され 昭和四十三年九月一日以

は申し出をしてありません

たいと思います。

ている方。

までに生れた方。

昭和二十三年十二月二日

帰国いたしました。 行つてまいりましたが、無と慰問をかね、実態調査に チンを訪れ、移住者の視察 町建設のため全力を傾注し この神察の体験を生かし、 事目的を果たし去る二日に 拓槌農協連合会からブラジ 月二日まで四十四日間全国 町長萬米から帰国 今後町政におきましては 南米移住調査団の一員と 、パラグアイ、アルゼン 九月二十日から十

選挙人名绘の追加登録

名祭の追加登録を行ないま てください。



年連続優勝を遂げた我孫子中チーム

交通安全作文の受賞者

早めに、役場又は、各支所 登録の申し出をされていた てあるかどうかを確かめ、 は特に注意し、申し出をし の窓口に申し出てください の申し出をしていない方は で、いまだ選挙人名祭登録 い方は本人又は家族の方が 新たに成人になられた方 この資格要件を満たす方

町の人口

(43.10.31 現在)

18.831人 前月比98人增 # 199 世帯数9.314世帯 〃75世帯増

9月の人口動態

좕 33人 74人 41人 157人 145人 302人 4人 人8 96人 83人 179人

收

割

合

の

(单位 円)

昭和四十

一年より二五・四%

0

増

布佐中体育館建設、

消防車

営住宅建設などの事業を計

道路の舗装補修、

公

沙1表 般 슾 計総括表 X 分 昭和41年度 昭和42年度 総 額 536,418千円 609, 793千円 出 総 歳 額 532, 574 602.972 歳入歳出差引額 翌年度へ繰り 越 すべき財源 3,844 6,821 6,000 ٥

町の財政はこのようになっている

昭和42

実	質	収	支	3, 844
沙2	表	昭和4	2年度	一般会計決算

	(収入)(甲位十円)
款	決 算 額 構 成 比
町 税	296, 227 48.6%
娯楽施設利用税交付金_	5, 285 0.9
地_方 交 付 税	78, 28112.8_
臨時地方財政交付金_	1,693 0.3
分担金・負担金	13, 941 2.3
使用料・手数料	28, 819 4.7
国 庫 支 出 金	27,522 4.5
県 支 出 金	53,920 8.8
財 産 収 入	353 0.1
寄 附 金	34,583 5.7
繰	1,200 0.2
繰	3,844 0.6
諸 収 入	8,525 1.4
町 債	55, 600 9. 1
合計	609, 793 100.0

> 3表 昭和42年度一般会計決算 (支出) (単位千円)

	款		決 算 額	構成比
識	会	費	18,663	3.1%
総	務	費	140, 418	23,3
民	生	費	44, 212	7.3
衛	生	費	97, 785	16.2
労	仂	費	12, 988	2.2
農 林	水_産_3	美費	61,408	10.1
商	л.	費	5, 110	0.9
土	木	費	92.795	15.4
消	防	費	37, 833	6.3
教	育	費	72, 279	12.0
公	貸	費	19, 481	3.2
合		āl-	602, 972	100.0

二、四二五千円で浄水場 昭和四十二年度には、一四 企業法の適用を受けました 四十三年四月一日から公営 〇千円繰り出されました。 もので、今年度は一、二〇 て、公共事業に充てている り一般会計に繰り出しをし 特別財産の運営、処分によ 上水道事業会計は、昭和 特別財産運営事業会計は

る町民税は九一、五%の収 固定資産税の収入割合は り町税の四四、七%を占め 六一、七九四千円の増とな **人割合を示しておりますが**

占める町税は、前年度と比

との歳入の四八、六%を

表のとおりです。

歳入決算の内訳は、オニ

較しますと、二五、四%(

尿処理場建設二四、〇〇〇 業、四三、九六〇千円、し

821

市計画街路事業、 始め、道路舗装補修費、都 消防署布佐出張所建設事業 二五六千円、町営住宅建設 千円、青年館建設事業五、 農業構造

まのご協力をいただき、よ っておりますが、一層皆さ 低く財政面での弾力性を失 たしております。 一般財源の予算構成比が

取支の状態はよく上水道事 なっております。 古屋簡易水道事業会計は

との設計変更を終え、昭和

産

2,410⁴⁷

戝

物

M D D D

I DEF

37.211

២២២

努力いたしております。 四十三年度に完成するよう 調査準備に要した経費で 事業に対応するものでこの 計は、天王台土地区画整理 柴崎土地区画整理事業会

才6表

丠 地 町 有

建

般会計

行され、現在常盤、寿、栄 の点で飛躍的に整備されず 消火栓が設置され消防水利 帯三六○となっております の一部に衛生的な水を送っ 配水管工事が計画どおり執 上水道事業の実施により、 たもの五五〇世帯、給水世 ております。工事を終了し

163.083 m³ 六、〇〇〇千円借り受けま 和四十二年度も、し尿処理 千円など一般会計では五五 施設整備事業債八、〇〇〇 れて事業を行ないます。昭 利の政府資金などを借りる **限度がありますので、低金** 財源である町税収入には、 会計別 金 し、自主 ん。しか

に異動

名が異動されましたので追

十月一日附により次の二

増田早苗税務課から住民課

から消防本部出向消防係長

勇 保健課料金係主査

す。これ なりませ なければ 種の事業 境の整備 に発展し して日増 を行なわ ため、各 をはかる に伴う環 ておりま ります。 △郡部連合統計研究会長賞 △千葉県統計協会賞 されました。 調査員である次の方が表彰 った調査員が表彰されてお われる統計調査に功績のあ されました。 て、千葉県統計大会が開催 席上、本町から農業統計 との大会は、毎年おこな 人事異動△ 飯田武重(土谷津) 星野利男 (中里) 月一日千葉市におい

七五千円)の増となってお 比べ一三、七%(七三、三 ります。 九三千円となり、前年度に 各種の事業が計画どおり遂 まのご理解とご協力により 歳入総額は、六〇九、七 町長就任以来、町民皆さ 般会計 決 算

前年度と同様若干落ちてお

事業費総額二〇二、二七

☆特別会計

業会計に昭和四十三年度中

利用ください。

ح

から四時までです。

11月26日

11月27日

11月28日

なお、時間は九時三〇分

に包含される予定でありま

算 0

おります。 方交付税、国界支出金等の 今後とも皆さまのど協力を 一、九%の決算額となって 七二千円で、予算に対しハ 収入は良好です。 いただきたいと思います 歳出総額は、六〇二、九 その他依存財源である地 主要事業は、庁舎建設事

湖北台団地の入居予定等、 千円が実施されました。 を最少限度におさえ、 す。 く住みよい町造りに努力い 件費、物件費など通常経費 えるため、歳出に占める人 種の事業が山積しておりま 社会増が厳しく必然的に各 昭和四十四年度に住宅公団 これらの行政需要にこた 近年本町の開発がすする 明る

被保険者数一四、五九四人 となっております。 以来医療費給付が激増しま 円、費用は、四九六〇円と 収支差引額五、七七六千円 加入世帯数三、六四一世帯 保険税負担額は一、九七三 したが、会計の収支状態は で構成され、七割給付実施 なお、彼保険者一人当り 国民健康保険事業会計は 決

更のやむなきに至りました などにより、実施計画の亦 ましたが、常磐線線増計雨 存工事を行なり計画であり ○%が完成する予定です。 末処理場建設、管渠事業が 日本住宅公団湖北台団地の を実施し、⊁四、五期分残 四十三年度に処理能力の五 計画どおり実施され、昭和 二二、〇〇〇人を対象に終 天王台土地区画整理事業 公共下水道事業会計は、

有個証券 出貨 金 基 金 F gingla

812 +F

にあり近

場

興 陽 寺 11月29日

東源寺 (柴崎青山)

常盤台青年館

旧役場庁舎

郊都市と

≪統計功労で 受彰≫

2.860 +A (単位千円) 合 計

上水道会計天王台会計下水道会計 475, 456 13,500 首都圈内 町 本町は 債

程

所 月 B

138.863(99%) 61.721(45%) 138.863(99%) " 89 (1%) 89 (1%) | 4,263 (316 %) | 1,207 (83 %) 144,796(103%) zΚ 消

年度決算報告

況について公表いたします

昭和四十二年度の決算状 木.町 長 鈴

建設事業、消防署布佐出張 く感謝いたします。 皆さまのご協力の賜と感謝 庁舎建設事業、し尿処理場 行されて居りますことを深 が執行できましたことは、 所建設事業など各種の事業 いたしております。 昭和四十二年度事業は、 本年度も若松、青山終末

処理場建設、青年館建設、 くど指導、ど協力くださる い町づくりに努めたいと思 協力をいただきながら明る ておりますが、皆さまのど

ようお願い申しあげます。 いますので今後ともよろし 画しております。 改善事業などが行なわれ、 まだ多くの事業が山積し と思います。 り多くの事業を実施したい

町民一入当り町税負担額 才4表 出額 歳

		(+,1,
年度金額	5000 10000 1501	00
38	V/7'23A'/////	町投負担額 歳 山 額
3 9	8.622	M - NK
4 0	6,309	
41	6.600	
4 2	7.940	

町民一人当りの町税負担額は各年度の町税総額を各年度の人口で除した全額 、旅出額は各項の敷出根額を同じように各年度の人口で除いた金額です。

才5表 特別会計の收入と支出

金額 会計別 晚1234 789 84,567(102%) 国民健康保険 680 (234 %) (40 (48 %) 古屋简易水道 公共下水道 天王台土地区西盐理 柴崎 特別联產

□ 收入済額 ■ 支出済額)は予算に対対約

(单位十円)

場所 湖北支所 日時 十一月二十八日午前 とおり行ないますので、 士が出席の予定です。 ないます。 行政相談をつぎのとおり行 【行政相談】 ≪出張徵収≫ 十一月の出張徴収を次の なお、相談には渡辺弁護 毎月行なわれております 十時から午後三時まで



586